

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第二百四十六號

明治卅六年九月廿四日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第七十三號

明治三十五年十一月十一日 和歌山縣令第六十號中和歌山新報ノ次へ左ノ一新聞ヲ追加ス
本令ハ明治三十六年十月一日ヨリ施行ス

明治三十六年九月廿三日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敬

南 海 新 報

和歌山縣令第七十三號參照

明治三十五年十一月十一日 和歌山縣令第六十號ハ公布式ノ件

○和歌山縣訓令甲第三十七號

郡 役 所
市 役 所
町 村 役 場

海軍志願兵志願者心得左ノ通相定メ毎年該兵徵募ノ節ハ通諭等ヲ召集シ此主旨ヲ布演ス
ヘシ之レガ爲郡役所ニ於テハ毎年郡内適當ノ場所ニ郡書記ヲ出張セシムヘシ
志願者獎勵ノ節ハ成ルヘク尋常小學卒業以上ノ學力ヲ有シ素行善良ナリ者ノ内ヨリ志願兵
トシテノ身長并體重ニ合格シ且顯著ナル疾病等ナキ者ニ就キ勸誘スル事ニ努力スヘシ
郡長ハ第一項ノ出張セシムヘキ日割ハ其ノ決定ノ都度又獎勵ノ狀況ハ志願者出願期日迄ニ
夫々知事ニ報告スヘシ

但シ明治三十年^{十二月}訓令第四百五十八號ハ廢止ス
明治三十六年九月二十一日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 軍 教

海軍志願兵志願者心得

第一章 志願兵ノ種類

第一條 海軍志願兵トシテ徵募セラルヘキ兵種ハ左ノ如シ

水兵、軍樂生、木工、機關兵、鍛冶、看護、主厨

第二條 軍樂生及看護志願者ハ學力ノ試験ヲ要ス其ノ程度ハ讀書ハ平易ナル漢字交リ文、
作文ハ通俗文、算術ハ四則トス

第三條 木工及鍛冶ハ該職業ニ従事セシ經歷ヲ有スル者ニシテ木工鍛冶ニ適スト認メラレ
タル者ヨリ採用セラル

第二章 徵募并志願

第四條 一 無年徵募セラルヘキ兵員ノ數及出願期日ハ知事ヨリ告示ス

第五條 海軍志願兵ハ徵兵令ニ關係ナキヲ以テ沿海地方ヲ限ラス何地ヨリコテモ採用セラル

第六條 志願兵願書ハ別紙書式ニ依リ調製シ市ハ市役所郡ハ町村役場ニ差出スヘシ

第七條 志願スヘキ兵種ハ各自ノ隨意タルヘシト雖モ毎年各徵募兵員ノ數ニ制限アルヲ以
テ該兵種ノ最モ多キヲ第一希望トシ次ニ第二第三ト併セテ志願スルヲ得策トス

第八條 各兵種ヲ志願シ得ヘキ者ノ年輪及合格トナルヘキ身長体重ハ左ノ如シ

軍 樂 生	水 兵	體 別	
		年 齡	身 長
滿十六年以上十九年未滿	滿十七年以上廿一年未滿	五 尺 二 寸 以 上	十 三 貫 目 以 上
五尺一吋以上 五尺二吋以上 五尺三吋以上 (十七年未滿ノトキ) (十七年以上ノトキ) (十八年以上ノトキ)	十二貫目以上 十三貫目以上 (十七年未滿ノトキ) (十七年以上ノトキ) (十八年以上ノトキ)		

木工	滿十七年以上廿六年未滿	五尺以上	十二貫五百目以上
機關兵	滿十七年以上廿一年未滿	五尺二寸以上	十三貫目以上
殿治	滿十七年以上廿六年未滿	同	同
看護	同	同	同
主厨	同	五尺以上	十二貫五百目以上

備 考
 水兵機關兵殿治看護志願者ハ十七年未滿ナルトキハ身長五尺一寸五分體重十二貫五百目以上十八年未滿ナルトキハ身長五尺一寸七分體重十二貫七百目以上ニシテ發育ノ見込アル者ハ合格トセラル、コト有ルヘシ

第九條 志願者ノ年齡ハ徵募年(入團スル)ノ十二月三十一日ヲ以テ計算スルモノトス即チ左ノ如シ

徵募年	兵種	水兵機關兵	軍樂生	其ノ他ノ兵
三十七年		自明治十七年一月二日生自明治十八年一月二日生 至明治二十一年一月一日生至明治二十二年一月一日生	自明治十九年一月二日生自明治二十年一月二日生 至明治二十二年一月一日生至明治二十三年一月一日生	自明治十二年一月二日生自明治十三年一月二日生 至明治二十一年一月一日生至明治二十二年一月一日生
三十八年		自明治十八年一月二日生自明治十九年一月二日生 至明治二十二年一月一日生至明治二十三年一月一日生	自明治二十年一月二日生自明治二十一年一月二日生 至明治二十三年一月一日生至明治二十四年一月一日生	自明治十三年一月二日生自明治十四年一月二日生 至明治二十二年一月一日生至明治二十三年一月一日生
三十九年		自明治十九年一月二日生自明治二十年一月二日生 至明治二十三年一月一日生至明治二十四年一月一日生	自明治二十一年一月二日生自明治二十二年一月二日生 至明治二十四年一月一日生至明治二十五年一月一日生	自明治十四年一月二日生自明治十五年一月二日生 至明治二十三年一月一日生至明治二十四年一月一日生
四十年		自明治二十年一月二日生自明治二十一年一月二日生 至明治二十四年一月一日生至明治二十五年一月一日生	自明治二十二年一月二日生自明治二十三年一月二日生 至明治二十五年一月一日生至明治二十六年一月一日生	自明治十五年一月二日生自明治十六年一月二日生 至明治二十四年一月一日生至明治二十五年一月一日生

第三章 各兵種ノ職務

第十條 各兵種ノ職務概テ左ノ如シ

- 一 水兵ハ主トシテ銃砲并水雷兵器ヲ取扱ヒ或ハ艦船ニ在リテ甲板上ニ於ケル諸事業ニ從事スルモノトス
- 二 軍樂生ハ軍樂ヲ奏シ精神ヲ壯快ニセシメ士氣ヲ鼓舞スルモノトス
- 三 木工ハ木材ヲ以テ要スル器具ヲ製作シ若クハ破損物品ノ小修理ヲ主ルモノトス
- 四 機關兵ハ艦船ヲ推進スヘキ蒸氣機關ノ運轉若クハ蒸氣ヲ發生スヘキ汽鐘ニ於テ焚火スル等ノ事業ニ從事スルモノトス
- 五 鍛冶ハ金屬ヲ以テ要スル器具ヲ製作シ若クハ破損シタル兵器物品ノ小修理ヲ主ルモノトス

六 看護ハ疾病傷病者ノ看護若シハ調護等總テ醫務上ノ事ヲ主ルモノトス
 七 主厨ハ糧食ノ配給若シハ炊爨等總テ庶務ノ事ヲ主ルモノトス

第四章 検査

第十一條 志願者検査所ハ概テ一郡市ニ一ヶ所ヲ設テ志願人十名ニ充テザル郡市ニアリテ
 ハ便宜ノ検査所ニ集メテ検査ヲ施行セラルル但シ地形上召集ニ便ナラザルトキハ特ニ検査所
 ナク設置セラルルコトアルヘシ
 前項ノ人員ハ出願期日迄ノ員數ニ依リ計算スルヲ例トスルヲ以テ志願者ハ期日ヲ後レサ
 ル様注意スヘシ

第五章 採用後ノ待遇

第十二條 志願兵入團ノ節ハ其ノ期日ハ市役所町村役場ヨリ通知セラレ且其ノ旅費ハ官給ト
 シ一旦歸國ニ集合ノ上團官又ハ郡市町村吏員ノ附添ヲ受ケルモノトス
 第十三條 志願兵入團ノ上ハ左ノ物品ヲ交付セラルヘキヲ以テ郷里田舎ノ節ハ車馬費ヲ穿テ
 合格証書採用証書旅費ノミヲ携帶スヘシ

交付物品數量表

品名	兵種ニ依ル數量	水兵、木工、機關兵、砲 兵ニ給セラルヘキ數量	軍樂生ニ給セ ラルヘキ數量	看護、主厨ニ給セ ラルヘキ數量
----	---------	---------------------------	------------------	--------------------

正服上衣袴	二		一	三
軍服上衣袴			二	
通常軍服上衣袴	三		二	
夏服上衣袴	三		三	三
副衣			二	
外套	一		一	一
軍衣	一			一
雨衣		(水兵)		
正服帽	二		二	二

毛 布	前 立 毛	劍 帶	短 劍	靴 下	靴	袴 鈞	手 袋	襪 飾
三				六	(水兵木工) (補給兵給給) 三二			三
三	一	一	一	六	二	二	二	
三				六	二	二		

麻 茶	脚 絆	袴 下	襪 卷	中 着 襪	中 着	襪 絆	夏 服 袴 帽	帽 履
	一	二	一	二	二	三	一	三
四	一	二				三		三
	一	二				三		三

海 産 船 糧 食								
日 曜	合 計	小 計	調 運 用 途 額	土 曜	金 曜	木 曜	水 曜	火 曜
		三三〇		五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
六 五	三三〇							
		二八〇		四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
		二二〇		四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
六 四〇	五六〇							
一〇〇		七〇〇		一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
三 五		二四五		三五	三五	三五	三五	三五
		二二五	二二五					
		二一〇		二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
三三〇	九六五							
		三三五		〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
一〇〇	一四〇							
		三・五		一	一	一	一	一
六		七〇		六	六	六	六	六
		二・三						
		一・五						
		三・二						
		一・五						

陸 上 及 碇 泊 産 船 糧 食								
日 曜	合 計	小 計	調 運 用 途 額	土 曜	金 曜	木 曜	水 曜	火 曜
		五〇						
四〇〇	四〇〇							
		五〇						
		四〇						
六 四〇	六 四〇							
一〇〇		六〇		六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
三 五		二五		二五	二五	二五	二五	二五
		二五	二五					
		二五		二五	二五	二五	二五	二五
三三〇	九六五							
		三三五		〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
一〇〇	一四〇							
		三・五		一	一	一	一	一
六		七〇		六	六	六	六	六
		二・三						
		一・五						
		三・二						
		一・五						

第十五條 志願兵ハ漸次募集シテ下士准士官又ハ士官ニ任セラレトテ得共ノ各名稱左ノ如

筆記長	看護長	全	機關兵曹長	船匠長	軍樂長	兵曹長	士官少當官尉
上等筆記	看護師	全	上等機關兵曹	船匠師	軍樂師	上等兵曹	准士官
尉	看護手	鍛冶手	機關兵曹	船匠手	軍樂手	兵曹	下士官
宰主	看護	鍛冶	機關兵	木工	軍樂生	水兵	卒
尉	護	冶	兵	工	生	兵	

縣報第二百四十六號

明治三十六年九月廿四日

第三種郵便物認可

兵曹長及機關兵曹長ハ尙ホ特選ニ依リ中尉又ハ中機關士ニ進級スルヲ得
第十六條 服役中左ノ俸給及航海加俸等ヲ給セラレ

高等武官俸給表 (大尉及相當官以上ハ屬ス)

中尉及相當官	少尉少機關士等	兵曹長、 機關兵曹長、 看護長、 筆記長、
一級 六百圓	四十四圓	一級 七百八拾圓
二級 五百四拾圓	二級 七百貳拾圓	

兵曹長同相當官ニシテ一級俸ヲ受ケ五年以上勤績シ特ニ功勞アル者ハ年俸八百六拾四圓ヲ給セラレトテ得

准士官俸給表

一級	二級	三級	四級
六百圓	五百四拾圓	四百八拾圓	四百貳拾圓

下士卒俸給表

郵船航海加俸表

官別	加俸日當額	加俸日當額				
		一等	二等	三等	四等	五等
區別		一等	二等	三等	四等	五等
甲額	日當 八拾四錢七拾	八拾四錢七拾	五拾八錢四拾四錢	四拾錢	三拾七錢	三拾錢
乙額	日當 五拾八錢四拾九錢	四拾四錢	四拾錢	三拾七錢	三拾錢	二拾五錢
官別		一等	二等	三等	四等	五等
加俸日當額		東經九十度以東	東經九十度以西	東經三十度以東	東經三十度以西	東經三十度以東
本邦沿岸		西經百四十度以西	西經百四十度以東	西經百四十度以西	西經百四十度以東	西經七十度以東
亞細亞		北緯六十度以南	北緯六十度以北	北緯七十度以西	北緯七十度以東	北緯七十度以東
露領沿岸		南緯三十四度以北	南緯三十四度以南	南緯三十四度以北	南緯三十四度以南	南緯三十四度以南
中少尉及相當官	參拾錢	拾五錢	六拾錢	九拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢
候補生及准士官	貳拾錢	拾錢	四拾錢	六拾錢	八拾錢	壹圓貳拾錢
下士	四錢	貳錢	八錢	拾錢	貳錢	六錢

大西洋亞米利加洲沿岸ハ第五欄ノ加給額ヲ給ス

水雷艇航海加俸表

官別	加俸日當額	加俸日當額				
		一等	二等	三等	四等	五等
區別		一等	二等	三等	四等	五等
加俸日當額		東經九十度以東	東經九十度以西	東經三十度以東	東經三十度以西	東經三十度以東
本邦沿岸		西經百四十度以西	西經百四十度以東	西經百四十度以西	西經百四十度以東	西經七十度以東
亞細亞		北緯六十度以南	北緯六十度以北	北緯七十度以西	北緯七十度以東	北緯七十度以東
露領沿岸		南緯三十四度以北	南緯三十四度以南	南緯三十四度以北	南緯三十四度以南	南緯三十四度以南
中少尉及相當官	四拾錢	貳拾錢	八拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓六拾錢	壹圓貳拾錢
候補生及准士官	參拾錢	拾五錢	六拾錢	九拾錢	壹圓貳拾錢	壹圓貳拾錢

下	士	拾	五	貳	拾	錢	參	拾	錢	四	拾	錢		
卒	六	錢	參	錢	拾	貳	錢	拾	八	錢	貳	拾	四	錢

第十七條 下士卒ニシテ左ノ事項ノ一ニ該ル者ニハ各其ノ有効期間一日六錢以内ノ加俸ヲ給セラル但シ第三及第六ニ該ル者同技術ノ證書証狀ヲ併有スルトキハ多額ニ就キ之ヲ給セラル

- 第一 善行章ヲ有スル者
- 第二 教員ノ職ヲ奉スル者
- 第三 軍樂教員通任證書若クハ軍樂高等科卒業證書ヲ有スル者
- 第四 信號通任證書ヲ有スル者
- 第五 優等測手証狀若クハ優等射手証狀ヲ有スル者
- 第六 勅命ヲ以テ定メラレタル特殊ノ技術證書若クハ証狀ヲ有スル者
- 第十八條 下士卒ニシテ家族アル者ニ限リ其ノ扶助金トシテ一箇月金八拾五錢ヲ其ノ家族ニ給セラル
- 第十九條 志願兵ノ服役ヲ分テテ現役及豫備役トス現役ハ八ケ年ニシテ入團ノ日ヨリ之ニ服シ豫備役ハ四ケ年ニシテ現役ヲ終リタル日ヨリ之レニ服ス
- 第二十條 下士卒ノ服役年限年輪ハ左ノ如シ

下士 年輪四十五歳迄
卒 年輪四十歳迄

- 第一期了レハ三ケ年宛年限年輪迄再役スルヲ得
- 第二十一條 現役中若シ負傷シ或ハ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ輕症ノ者ハ艦團隊内ノ病室ニ於テシテ其ノ重症ノ者ハ海軍病院ニ於テ療養セシメラル
- 第二十二條 父母重病ノ時ハ其ノ願出ニ依リ往復ヲ除キ二週間以内觀看護歸郷ヲ許サレハコトヲ得

第六章 恩 給

- 第二十三條 退職恩給ハ准士官以上左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ之ヲ給セラル
- 一 現役十一年以上ニシテ年限ノ年輪ニ達シ又ハ年限ノ年輪ニ達セサルモ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘス退職シタルトキ
- 二 戦闘及戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲傷痕ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ退職シタルトキ
- 三 戰地ニ於テ流行病ニ罹リ又ハ戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲健康ニ有害ナル感動ヲ受ケルヲ願ミルコト能ハスニテ勤務ニ從事シ爲ム一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ退職シタルトキ
- 四 現役十一年以上ニシテ未ダ年限ノ年輪ニ達セスト雖モ休職停職滿期若クハ諭示ニ依テ退職シタルトキ

第二十四條 免除恩給ハ下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ之ヲ給セラル

一 現役十一年以上ニシテ定限ノ年給ニ達シ又ハ定限ノ年給ニ達セザルモ服役滿期トナリ或ハ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ服役ニ堪ヘズ免官若クハ現役ヲ免除セラレタルトキ

二 第二十三條第二又ハ第三ニ由リ免官又ハ現役ヲ免除セラレタルトキ
第二十五條 増加恩給ハ戰闘及戰時平時ニ拘ラス公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ニ退職恩給、免除恩給ノ外特ニ給セラルモノトス

第二十六條 賑恤金ハ下士以下左ニ掲クル事項ノ一ニ當リ増加恩給ヲ受ケヘキ傷痕或ハ疾病ヨリ輕症ニシテ免除恩給ヲ受ケザル者ニ之ヲ給セラル

一 戰闘及戰地公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ第二十三條第三ニ原由スル疾病ニ罹リ現役ヲ離レタルトキ
二 戰時平時公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ第二十三條第三ニ原由スル疾病ニ罹リ現役ヲ離レタルトキ

第二十七條 給助金ハ下士以上現役中死没シ若クハ現役四年以上十一年未滿ニシテ現役ヲ離レ退職恩給、免除恩給ヲ受ケザル者ニ之ヲ給セラル

第二十八條 從軍年ハ現役外ノ年月トシ之ヲ其ノ服役年數ニ加算セラル其ノ加算ノ方法ハ左ノ各項ニ依ル
一 外國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ内國港灣ヲ出發シタルトキハ二個年

二 内國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ戰地ニ臨ミタルトキハ一個年

三 臨戰合圍地境内ニ於テ服役シタルトキ外國ニ在リテハ二個年内國ニ在リテハ一個年

四 日本國外ノ鎮戍ニアリタルトキハ一個年

第二十九條 海軍々人ノ外國航海ハ内國港灣出發ノ日ヨリ一航海ヲ半個年ニ加算セラル其ノ航海十二ヶ月ニ超ユルトキハ更ニ半個年ヲ加算セラル

第三十條 軍人左ノ各號ノ一ニ當リタルトキ其ノ寡婦ハ扶助料ヲ受クルノ権利アル者トス
一 戰死シ又ハ戰闘ニ因リ負傷ノ爲死没シタルトキ

二 公務ノ爲傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ戰地ニ於テ若クハ公務旅行中流行病ニ罹リ死没シタルトキ

三 退職恩給若クハ免除恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ權利ヲ有シテ死没シタルトキ

第三十一條 寡婦ナキトキハ孤兒父母又ハ祖父母ニ給セラルヘキモノトス

孤兒父母又ハ祖父母ナクシテ二十歳未滿又ハ痲疾若クハ不具ニシテ產業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリテ之ヲ給養スル者ナキトキハ一時限リ扶助料ヲ給セラルトコトヲ得
第三十二條 退職恩給、免除恩給及扶助料ハ左表ノ金額ヲ給セラル

退職恩給表

年數	官等						准士官 判任官
	一	二	三	四	五	六	
	任						
	奏						

免除恩給表

官等	下					高				
	判	任	官	士	官	士	下	官	士	卒
十一年	七百五拾圓	六百	四百五拾圓	參百	圓貳百廿五圓	百八拾圓	百五拾圓	百八拾圓	百五拾圓	百五拾圓
十二年	七百六拾圓	六百拾圓	四百五拾圓	參百五圓	貳百廿九圓	百八拾圓	百八拾圓	百八拾圓	百八拾圓	百五拾圓
十三年	七百七拾圓	六百貳拾圓	四百六拾圓	參百拾圓	貳百卅參圓	百八拾圓	百八拾圓	百八拾圓	百八拾圓	百五拾圓
十一年	六拾圓	五拾四圓	四拾八圓	四拾四圓	四拾圓	參拾六圓	參拾六圓	參拾貳圓	貳拾八圓	貳拾八圓
十二年	六拾貳圓	五拾六圓	五拾圓	四拾五圓	四拾壹圓	參拾七圓	參拾七圓	參拾參圓	貳拾九圓	貳拾九圓
十三年	六拾四圓	五拾八圓	五拾貳圓	四拾七圓	四拾貳圓	參拾八圓	參拾八圓	參拾四圓	參拾圓	參拾圓

扶助料表

官等	高					下					海				
	六等	七等	八等	一等	二等	三等	四等	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等
甲	參百圓	貳百貳拾圓	百八拾圓	百五拾圓	七拾五圓	六拾九圓	六拾圓	五拾七圓	五拾壹圓	四拾五圓	四拾貳圓	參拾六圓	參拾六圓	參拾貳圓	貳拾八圓
乙	貳百圓	百五拾圓	貳拾圓	圓五拾圓	四拾六圓	四拾圓	參拾八圓	參拾四圓	參拾圓	參拾圓	參拾圓	參拾圓	參拾圓	參拾圓	參拾圓
丙	圓七拾五圓	六拾圓	五拾圓	貳拾參圓	貳拾圓	拾九圓	拾七圓	拾七圓	拾五圓	拾四圓	拾四圓	拾四圓	拾四圓	拾四圓	拾四圓

退職恩給及免除恩給ハ十四年以上四十年迄逐次増加ス

扶助料表中甲號ハ第三十條第一號、乙號ハ同條第二號、丙號ハ同條第三號ニ當ルモ

考 備

ノドス

第七章 志願スルヲ得サル者及採用セラレサル者

- 第三十三條 左ニ掲グル者ハ志願スルヲ得ス
- 一 陸軍ノ豫備役及後備役ニ在ル者
 - 二 徵兵令第二十八條ニ當ル者
 - 三 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ賭博犯ノ處分ヲ受ケタル者
 - 四 刑事被告人
 - 五 債權ヲ得ヤル家資分散者破産者若クハ其ノ相続人
 - 六 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者若クハ其ノ相続人

- 第三十四條 左ニ掲グル者ハ採用セラルベシト得ス
- 一 身體完全ナラザル者
 - 二 品行方正ナラザル者
 - 三 無教育ノ者
 - 四 前各號ニ掲タル者ノ外海軍々人ノ服役ニ適セザル者

海軍志願兵願

志願人 何 (傍欄片假名ヲ附スヘシ) 某

- 一 志願兵種 第一何々 第二何々 第三何々
- 二 教育 高等(尋常)小學卒業(何學年修業)
- 三 出生地 何郡(市)何町(村) 大字何番地 (他府縣出生ノ者ハ其ノ府縣圖名ヲモ記スヘシ)
- 四 住所 何郡(市)何町(村) 大字何番地 (出生地ニ同シケレハ出生地ニ同シト記スヘシ) (本籍ト現住所ト異ナル者ハ兩方トモ記スヘシ)
- 五 族 籍 士族(平民) (他府縣ノ者ハ其ノ府縣名ヲモ記スヘシ)
- 六 職業 業 農商(大工)(鍛冶)(學校生徒)
- 七 出生年月日 明治何年何月何日
- 八 海軍志願兵條例ニ概觸スル事ナシ

明治三十六年九月廿四日 第三種郵便物認可 十三

九 前年檢査成績 合格(不合格)

右志願ニ候也 明治 年 月 日

本人 何 某印

(二十歳未満ノ者ニ在リテハ戸主(后見人)ノ外親權ヲ行フ父又ハ母ノ同意ヲ要ス)

和歌山縣知事何某殿

前書取調候處相違無之候也

明治 年 月 日

何市(町)(村)長 何

某印

(注意) 木工鍛冶志願者ハ該職業及經歷ニ關スル市町村長ノ証明書ヲ得テ添附スヘシ (附録)

軍 艦 表

艦名	艦種等級	長	幅	排水量
富士	一等戰艦	三三三呎	三三呎	三三〇〇噸
八島	全	三三三	三三六	三三〇〇

吉野全	橋立全	松島全	嚴島全	高千穂全	浜田二等巡洋艦	出雲全	磐手全	吾妻全
五〇	全	全	全	三五	五〇	全	五〇	五三
四六六	全	全	五〇	全	四六〇	全	六六六	五九六
四二〇	全	全	四二〇	全	三三〇	全	九七〇	九三〇

第三種郵便物認可 一十四

八雲全	常磐全	淺間一等巡洋艦	鐵達全	扶桑二等戰艦	三笠全	初瀨全	朝日全	敷島全
四〇	全	四〇	五〇	三〇	全	全	全	五〇
四四四	全	六〇〇	六〇〇	四八〇	五〇〇	六〇六	五三三	五九六
九六六	全	九七〇	九七〇	三三〇	三三〇	一五〇〇	一三〇〇	一四六〇

武	大	萬	天	海	濟	比	金	筑
藏	和	城	龍	門	遠	敷	剛	波
全	全	全	全	全	全	全	全	三等海防費
全	全	101	全	101	101	全	111	111
全	全	100	全	100	100	全	100	100
全	全	100	全	100	100	全	100	100

明	須	秋	千	新	和	千	笠	高
石	磨	津	代	高	泉	鹿	豐	砂
全	全	全	全	全	三等海防費	全	全	全
195	100	100	105		100	100	100	全
111	100	100	110		100	100	100	全
100	100	100	100		100	100	100	全

大	赤	愛	島	摩	操	磐	天	宇
島	城	宕	海	耶	江	城	城	治
全	全	全	全	全	全	全	全	全
一貫	全	全	全	二番	一番	一番	二番	
三六、三	全	全	全	二六、一	二六、三	二五、一	二五、六	
三〇	全	全	全	六〇	六〇	六〇	九〇	六〇

鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	鎮	平	武	高
邊	中	北	南	西	東	邊	赤	雄
全	全	全	全	全	二等郵便	全	一等郵便	全
全	全	全	全	全	三番	二〇〇	二一〇	二二〇
全	全	全	全	全	二六〇	二七〇	二八〇	二九〇
全	全	全	全	全	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

曉	順	遊	曙	電	雷	速 鳥	夕 暮	陽 炎
全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	三〇	全	全	全
全	全	全	全	全	三〇	全	全	全
三〇	全	全	全	全	三〇	三二	全	全

不知 火	叢 雲	東 雲	薄 雲	登 橋	千 早	宮 古	龍 田	八 重 山
全	全	全	龍 運 集	水 雷 母 儀	全	全	全	運 集 集
全	全	全	三〇	三〇	三二	三二	三〇	三八
全	全	全	一九六	四〇二	三二五	三二五	二七六	三〇五
全	全	全	三〇	四〇〇	三三〇	二七〇	二七〇	一五〇

十號	二十五號	二十一號	小號	集	龍	朝沙	白雲	龍
三等水筒裝	全	二等水筒裝	全	全	一等水筒裝	全	全	全
二五	三八	二八	一六	一四八	一四	全	三五	全
二〇	一五、九	一三、一	一九、六	一六、一	一六、五	全	二〇、九	全
壹	七	九	二〇	一〇	一〇	全	三〇	全

昭和二十六年九月廿四日

第三種郵便物認可

十八

備考	十五號	全	全	全	全
	其他ハ普通ス、一時ハ八分四厘、一瞬ハ一尺六厘、一瞬ハ二百七十貫九百四十六匁ナリ				

○和歌山縣訓令甲第三十八號

警察 署
全 分 署

畜牛結核病防疫法施行規則執行手續左ノ通り相定ム

明治三十六年九月廿三日

和歌山縣知事

伯耆 清 棧 家 親

畜牛結核病防疫法施行規則執行手續

第一條 本手續ニ於テ規則ト稱スルハ畜牛結核病防疫法施行規則ヲ云フ

第二條 規則第二條ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ合計シ検査二十日ヨリ其種類、頭數ヲ報告スヘシ

第三條 規則第四條第三項及第五條ニ依リ検査ノ日時及場所ヲ指定セントスルトキハ豫メ稟請スヘシ

第四條 規則第十條第二項ノ耳標ヲ除去スヘキ事由ノ生シタルトキハ其事由ヲ報告シ指揮ヲ乞フヘシ

第五條 健康証書ヲ亡失致損シ又ハ規則第十一條第一項ノ届出ヲ受ケタルトキハ事由ヲ具シ報告スヘシ

第六條 規則第十二條ニ依リ許可ハ管轄警察官署ニ届スル検査員之ヲ處理スヘシ

第七條 規則第十七條乃至第二十一條ノ適合ニ於テハ處理後詳カニ其状況ヲ報告スヘシ但警察官署タル検査員ノ立會ヲ要スルトキハ其旨報告スヘシ

和歌山縣訓令甲第三十八號

明治三十六年九月廿四日

第三種郵便物認可

十九

第八條 評價人ハ官吏又ハ吏員ヨリ命ズルモノ、外隨時當該検査員ニ於テ命ズルコトヲ得

第九條 規則第二十四條ニ依リヘルクヲ注射ノ出願者アリタルトキ及第二十五條ノ届出ヲ受ケタルトキハ事由ヲ詳具シ速ニ報告スヘシ

第十條 規則第二十八條ノ届出ヲ受ケタルトキハ速カニ報告スヘシ

第十一條 規則第二十九條ニ依リ化製装置ノ認可申請書ヲ受理シタルトキハ其構造設備并ニ附近ノ状況等ヲ精査シ許可ノ意見ヲ具シ進達スヘシ

第十二條 警察官署ハ検査ヲ要スル畜牛ノ臺帳ヲ開製シ其種類、年齡、特微、所有者住所氏名等ヲ明記シ置クヘシ

第十三條 他府縣ニ於テ已ニ検査ヲ受ケ其健康証ヲ有スル畜牛ニシテ管内ニ輸入シタルモノハ其届書ニ健康証ノ寫ヲ添付セシムヘシ

第十四條 本手續ニ依リ報告ハ縣警察部長ニ之ヲ爲スベシ

○和歌山縣訓令丙第四號

畜牛結核病豫防検査員ニ關スル規程左ノ通相定ム

明治三十六年九月廿三日

和歌山縣知事

伯爵 清 棧 家 敬

畜牛結核病豫防検査員ニ關スル規程

第一條 畜牛結核病豫防法施行ニ關シ左ノ職員ヲ置ク

一 検査員長

一 検査員

一 検査員助手

第二條 検査員長ハ警部長ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 検査員長ハ知事ノ命ヲ受ケ部下ヲ指揮監督シ畜牛結核病豫防ニ關スル一切ノ事務

ヲ掌理スヘシ

検査員長事故アルトキハ衛生課長タル検査員ニ於テ其事務ヲ代理スヘシ

第四條 検査員及検査員助手ハ検査員長ノ命ヲ受ケ畜牛結核病豫防ニ關スル検査又ハ庶務

ニ従事スヘシ

第五條 検査員長ハ必要ニ應ジ検査員ヲ其管内ニ出張セシムルコトヲ得

第六條 検査員ハ其検査ヲ終リタルトキハ五日以内ニ其狀況ヲ報告スヘシ

可認物便郵種三第日八月五年三十三治明

照帳第二百四十六號 明治三十六年九月廿四日 第三種郵便物認可 廿二終

渡基ヨリ 午後十一 時四十分 迄時々前 西ノ電音 午前九時 十五分沿 海ノ警報 タ解ク	
ヲ全三時 四十七分 迄時々北 西ノ電音 午前八時 五十八分 沿海ノ警 報到着	

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日廿一日二十四日二十七日三十日十四日發行)

明治三十六年九月廿三日發行
 明治三十六年九月廿四日發行

和歌山縣

甲種人
 和歌山縣三丁五等
 和歌山縣十二丁十三等
 和歌山縣十四丁